1997／5

同志社大学

学術情報センター報 No.13

目次

- ラーネッド記念図書館にマルチメディア・ライブラリーを新設しました ► 1
- 『蘭学・英学資料展』について ► 3
- パソコンコーナー新設・第５閲覧室のご案内 ► 4
- CD-ROMを使いこなす（新聞記事検索） ► 5
- 計算機室からのお知らせ ► 6
- NEWS ＆ お知らせ ► 8

ラーネッド記念図書館にマルチメディア・ライブラリーを新設しました

昨今の情報のディジタル化、メディアの多様化の中で、学術情報としての非図書資料、ディジタル情報が、ますます重要になってきています。

学術情報センターでは、このような状況に対応し、非図書資料、ディジタル資料を総合的かつ有機的に提供する機能として、昨年、今出川にマルチメディア・ライブラリーを開設いたしましたが、本年はラーネッド記念図書館１階にマルチメディア・ライブラリーを新設いたしました。

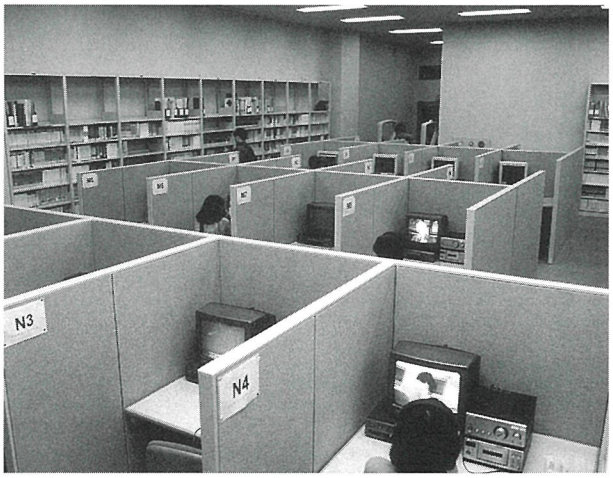
ここには、頌真館に設置していたテープライブラリーの機能とともに、CD-ROMサーバシステムが利用できるパーソナルコンピュータを配備し、各種メディアを自由に利用できるようにしています。

開設時間

月曜日～金曜日	9：00～19：30
土曜日	9：00～15：30

設備・機器

ビデオブース	7席
オーディオブース	7席
ビデオ・オーディオ兼用ブース	8席
集団視聴ブース	6席
CD-ROM検索端末機	12席



利用方法

CD-ROM資料

CD-ROMサーバシステムで運用しているものと、2階カウンターで請求して利用するものとがあります。CD-ROM用パソコンのメニュー画面に☆印がついているものはサーバシステム上で運用していますので、手続きなしに利用することができます。☆印のないものは「CD-ROM資料請求票」に必要事項を記入して2階カウンターで請求してください。学生証と引き替えに資料を渡します。

個々のCD-ROMデータベースの検索方法は、ブース備え付けのマニュアルや、貸出時に渡されたマニュアルを参考にしてください。

CD-ROM資料の検索結果はプリントアウトしたり、持参したフロッピーディスクにダウンロード（無料）できるものもあります。各CD-ROMブースに提示してある“検索結果出力対応表”を参照してください。プリントアウトの料金はプリンター机上に備え付けてある「プリント料金支払票」に必要事項を記入の上、補助員に支払ってください。

ビデオ資料

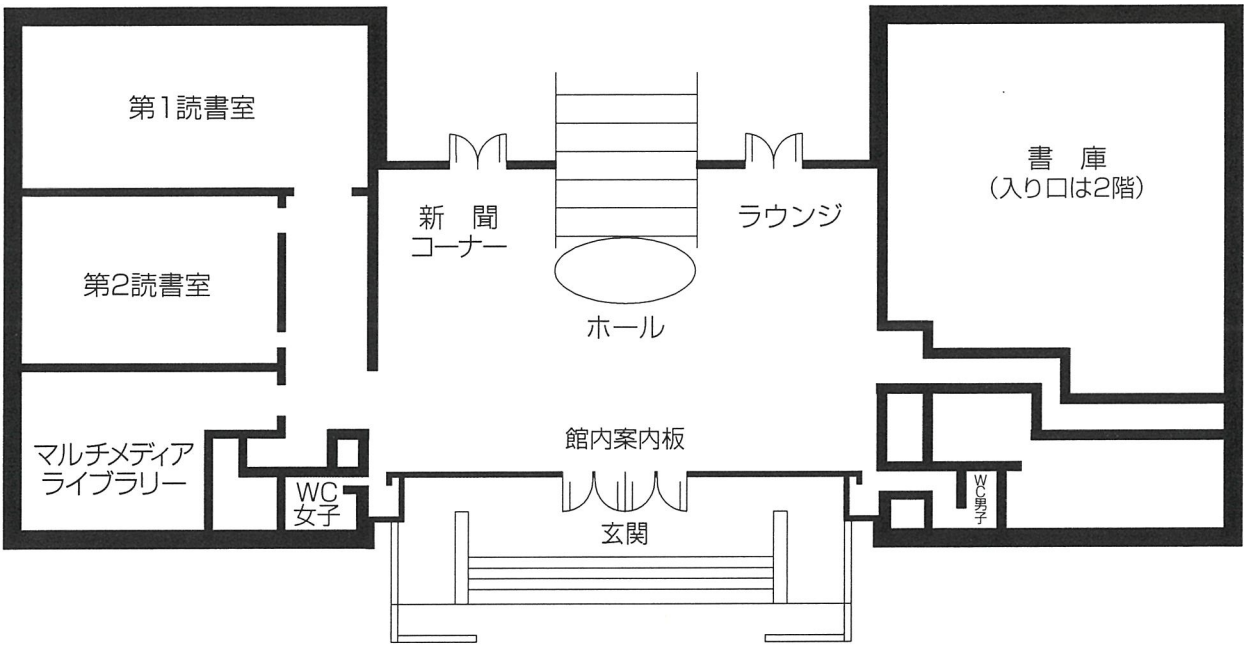
マルチメディア・ライブラリー内に配架している資料（開架資料）は特別な手続きなしで自由に利用できます。室内のビデオブースあるいは集団視聴ブースで利用してください。視聴がすんだら、ブースに備え付けてある「ビデオテープ利用票」に必要事項を記入して提出してください。利用した資料は書架に戻さず返却台に返してください。

開架資料の他に、書庫内に収蔵している資料もあります（閉架資料・リスト参照）。「視聴覚資料請求票」に必要事項を記入した上、2階カウンターで請求してください。学生証と引き替えに資料を渡します。利用がすんだら、2階カウンターに資料を返却してください。資料と引き替えに預かっていた学生証を返却します。

オーディオ資料（カセットテープ、CD）

オーディオ資料はすべて書庫内に収蔵しています。ビデオの閉架資料と同じように請求してください。ほとんどのオーディオ資料には同時に利用するテキストがついています。請求の際には注意してください。

ラーネッド記念図書館　1階平面図



『蘭学・英学資料展』について

期　間：1997年5月6日～（火）6月6日（金）
場　所：図書館（今出川）地階 展示コーナー

学術情報センターでは特色ある資料として「キリスト教関係資料」、「自由民権関係資料」、「英学関係資料」、「同志社関係資料」などの資料類を所蔵していますが、現在開催中の『蘭学・英学資料展』では、本学が所蔵する蘭学・英学関係資料を『荒木英学文庫』を中心として61点を展示しています。

以下に資料展の内容を簡単にご紹介します。

【蘭学関係資料】

P.マーリンの「大蘭仏辞典」（No. 2）は長崎のオランダ通詞が当時よく使用した辞書であり、その後、この辞書を参考にF.ハルマの蘭仏辞書が訳され「波留麻和解」として刊行されました。「波留麻和解」は我が国初の本格的な蘭和辞書であり、この縮小版が「訳鍵」（No. 7）です。

「波留麻和解」、「訳鍵」とも江戸系の蘭和辞書であり、これに対して長崎系の蘭和辞書としては、「ヅーフ・ハルマ」及び「和蘭字彙」（No.12）があります。「ヅーフ・ハルマ」は、F.ハルマの蘭仏辞書の第2版をオランダ商館長H.ヅーフが数人の通詞と協力して作成したものであり、「波留麻和解」や「訳鍵」が漢文訳であったのに対し、口語訳を基本としており重宝がられました。

「ヅーフ・ハルマ」に対する需要は多かったが、写本の部数が少なかったので、桂川甫周は改訂版を計画し、刊本（木版）として出版しました。これが「和蘭字彙」です。

これら体系的な辞書とはべつに、蘭語学習のための入門書として「蘭学階梯」（No. 4）があり、単語集としては「蛮語箋」（No. 5）、文法書として「和蘭文典」（No.11）などがあります。

【英学関係資料】

英語学習のための辞書、文法書、会話書などもはじめはオランダ通詞の手になったもので、オランダ語の影響がつよく出ていました。

本木正栄篇「諳厄利亜語林大成」（No.18）は、フェートン号事件で英語の必要性を痛感した幕府が、オランダ通詞に命じて完成させた辞書ですが、幕府の秘本とされ一般の目にふれることはありませんでした。

我が国最初の本格的な英和辞典としては、掘達之助の「英和対訳袖珍辞書」（No.19）があります。これが英和辞書の基礎となりその後の辞書編纂に大きな影響を与えました。「大正増補和訳英辞林」（No.20）、「英和対訳辞書」（No.21）、「稟准和訳英辞書」（No.22）はこの「英和対訳袖珍辞書」と同系統のものです。

これらオランダ系の辞書に対し、イギリス系の辞書としては、柴田昌吉、子安峻 編「附音挿図英和字彙」（No.24）があげられます。「附音挿図英和字彙」は明治初期の英和辞書の代表格で質的内容も高く、出色のものとされています。またアメリカ系の辞書としては、ヘボンの「和英語林集成」（No.29）やウエブスターの「袖珍英和辞典」（No.30）、「附音挿図和訳英字彙」（No.31）などがあります。

本展示では辞書のほかに、文法書、会話書、単語・熟語集など特色ある資料を数多く出展しています。また資料にはそれぞれ解説をつけていますのでぜひご覧ください。

＊注　（　）内の数字は展示資料の番号

パソコンコーナー新設

今出川図書館メインカウンター前にパソコンコーナーが新設されました。

利用時間は、開館から閉館の30分前です。24台の端末と2台のプリンターを設置しています。

提供ソフト

MS-Word、MS-Excel（表計算ソフト）、MS-Powerpoint（プレゼンテーションソフト）、Netscape Navigator、Tera Term、CommuniNetの6種類です。

Netscape Navigator

Netscape Navigatorはホームページの閲覧ソフトです。まず最初に、同志社大学のホームページが起動されます。そして、目的のホームページのURL（ホームページのアドレス）を入力、あるいはYahoo！等の検索サービスを利用することによって、世界中のサーバにアクセスできます。

Tera Term

Tera Termはインターネットの通信ソフトです。これを用いることにより、電子メール（E-mail）の送受信ができます。電子メールはコンピュータ同士をつないだ回線を使って相互にメッセージを伝達するコミュニケーションの手段です。同志社大学内だけでなく、インターネットに接続されている組織のユーザともメールの交換が可能です。

また、telnetを使って、DOORSを検索することができます。検索したデータは、各自のフロッピーディスクにダウンロードすることもできます。

多量のデータを出力・格納するには、DOORSのラインモード検索が便利です。

なお、Tera Termを使用するためには、ゲートウェイサーバのユーザIDが必要です。寧静館の情報システム課へ申請してください。

CommuniNet

CommuniNetはホストコンピュータを起動させるソフトです。ただし、パソコンコーナーからは、DOORSだけを起動させることができます。従来のDOORS検索専用機と同じ作業ができます。

検索補助員

利用者のみなさんの質問に答えたり、機器のトラブルに対応するために、検索補助員が勤務しています。各マニュアルを見てもソフトの操作がわからないとき、トラブルが発生したときは、補助員に相談してください。勤務時間は平日12：30～18：00、土曜日13：00～17：00です。なお、補助員が勤務していない時間帯は、カウンターにお尋ねください。

第5閲覧室のご案内

2階奥の旧パソコンルームを機能変更し、第5閲覧室としました。第5閲覧室では、パソコン、電卓、そろばん、ウォークマン（資格取得等のための学習用テープに限ります）等を持込んで利用できます。プリントアウトはできません。他の利用者の迷惑にならないよう、マナーを守って利用してください。

なお、第5閲覧室以外の閲覧室での上記機器の利用はご遠慮ください。

CD-ROMを使いこなす（新聞記事検索）

日ごろ、レファレンスで、「新聞の記事を検索してほしい」というお申し込みが結構あります。けれども探したい年代によっては自分で検索できる場合もあります。CD-ROMを利用するのです。

マルチメディア・ライブラリーにはCD-ROM検索コーナーがあります。CD-ROMなら料金を気にせずに検索できます。また、レファレンスカウンターで係員がデータベース検索（有料）する場合でも、どんなキーワードで探し、また、絞り込むのか予め用意しておくとそれだけスムーズに検索結果が得られます。現在利用できる記事検索は日経４紙・毎日・朝日各紙です。（両校地とも）

日経全文データベース
日経・日経産業・日経金融・日経流通新聞

1994～96年版（各年版）

思いついた言葉(フリーキーワード)から検索できます。日経本紙については記事見出し、専門紙３紙（産業・金融・流通）については全文記事（フルテキスト）形式で収録しています。したがって、この３紙については記事本文（あるいは抄録）も表示させる事ができます。　【メインカウンターで請求】

CD-5yrs.　毎日新聞（'97年新着）

1991～95年（各年版），総合索引版

毎日新聞東京本社および大阪本社のフルテキストを収録しています。見出しキーワード（記事見出し中の言葉）およびフリーキーワード（記事中の言葉）から検索できます。結果を表示する際は、一覧表示（見出し）、詳細表示（記事の全文または前文）が選択できます。

各年版のみでの検索もできますし、総合索引版を使って５年分の記事見出しを一気に検索し、各年版を使って記事本文を表示させるといったような効果的な使い方もできます。　【メインカウンターで請求】

CD-HIASK　朝日新聞記事データベース

1985～96年（各年版）

前述のCD-ROMと同様、フリーキーワードで記事検索ができます。

1989年までは東京本社版、1990年以降は東京本社に加えて、大阪・西部（九州・山口地区）・名古屋各本社の最終版を対象に記事全文を収録しています。

表示は一覧表示（見出し）、詳細表示（記事の全文・前文）が選択できます。各年毎の検索・表示となりますが、複数年にわたる見出し検索は、CD-ASAXをご利用ください。

【1985～92，96年メインカウンターで請求】
【1993～95年はサーバ】

CD-ASAX
戦後50年朝日新聞見出しデータベース

1945～59，1960～69，1970～79，1980～89，1990～95年（全５枚）

1945～1995年までの朝日新聞の記事見出しすべてを５枚に収録しています。記事の見出し中の語句、縮刷版で採用されている分類、発行日などから検索することができます。　【すべてサーバ】

New！（新着のご案内）

このほか、今年度の新着CD-ROMとして**学術雑誌総合目録**（６月予定）、**キネマ旬報アジア・ヨーロッパ編**、International statistical yearbook、World biographical index(以上両校地)、**図書館雑誌総索引**、**130万語大辞典**(以上田辺)があります。詳細は「学術情報センター利用案内」をご覧ください。

計算機室からのお知らせ

情報処理実習教室、オープン利用室の利用について

学術情報センター計算機室では、Windows95を組み込んだパソコンを配備した情報処理実習教室、オープン利用室を両校地に設置しており、皆さんの利用に供しています。

1．ユーザIDについて

情報処理実習教室、オープン利用室のパソコンを利用するためには、教室システム・インターネット用のユーザIDが必要です。このユーザIDは、一度取得すれば卒業（修了）まで有効です。このユーザIDをまだ取得されていない方は、学生証を持参の上、計算機室窓口で所定の手続を取ってください。なお、96年度までにインターネットのユーザIDを取得されていた方は、そのユーザIDが使用できますので、改めて手続は必要ありません。また、文系学部の97年度生の皆さんには既にユーザIDの通知書をお渡ししていますので、手続は不要です。

2．パスワードについて

パソコンを利用するには、ユーザIDだけではなく、パスワードが必要です。パスワードは個人のユーザIDを他人に使用されないために設定されているものですから、各個人で厳重に管理する必要があります。パスワードは定期的に変更するようにし、手帳などにユーザIDとパスワードを一緒に控えておくようなことのないようにしてください。

3．利用の手引、利用相談について

ユーザIDを通知する際に、利用に関する事項を記載した「情報処理実習教室利用の手引」「ネットワーク利用の手引」をお渡ししています。また、教室には各ソフトウェアのマニュアルなども置いてあります。操作方法がわからない場合はまず利用の手引やマニュアルを調べてみてください。

なお、一般利用可能な教室では「情報処理実習教室補助員」（Technical Adviserとプリントされた赤いジャンパーを着用）が利用上の相談を受けつけていますので、調べてみてわからないことがあれば気軽に質問してください。

4．情報処理実習教室への入室について

情報処理実習教室は授業利用のために設置されていますが、授業がない時間帯には一般利用として利用することができます。情報処理実習教室の時間割表を寧静館、恵道館に掲示していますので、一般利用可能な教室を確認して入室するようにしてください。なお、オープン利用室は、常に一般利用が可能です。

5．利用の際のマナー

情報処理実習教室、オープン利用室に設置されているパソコンは、教育・研究目的のためのものですから、ゲームをするといったことは禁止されています。本来の目的に沿った利用を心がけてください。

また、これらのパソコンは、皆さんで共有して利用するものです。個人が所有しているものではありません。個人で持ち込んだソフトをインストールして利用したり、諸々の設定を変更することは絶対にしてはならないことです。

なお、情報処理実習教室、オープン利用室での飲食は厳禁です。

6．パソコンの終了方法について

パソコンを終了する際は、「Windowsの終了」を実行します。実行すると終了処理が行われますが、電源を切れる状態になるまで約5分程度かかりますので、待てなければそのまま席を離れていただいても結構です。終了処理の途中で電源を切ると、パソコンが壊れることがありますので、絶対に電源を切らないようにしてください。

メールサーバを利用環境向上のために分割しました

1997年4月1日より、メールサーバの混雑によるメールの遅配等を解消する対策としてメールサーバを複数台に分割することで負荷の分散を図りメールの快適な配送を可能にしています。

このため利用者毎に、従来のmail.doshisha.ac.jpから以下のサーバ名に変更されています。（サーバ名が変更の場合、メールアドレスも変更されています。）

▼サーバ名について

メールサーバは利用者の所属学部・研究科によって次のように分かれています。自分のメールサーバのサーバ名を確認し、必ず覚えてください。

対象利用者	新規サーバ名
教職員	mail.doshisha.ac.jp （従来どおり）
神学部・文学部・法学部学生および院生	mail 2 . doshisha.ac.jp
経済学部・商学部の学部生および院生 アメリカ研究科・総合政策科学研究科生	mail 3 .doshisha.ac.jp
工学部の学部生および院生	mail 4 .doshisha.ac.jp

▼宛先アドレスについて

学内間でメールの交換を行う場合、これまでは宛先のアドレスをユーザIDの指定だけで送信が可能でした。しかし、サーバ分割後は発信者と異なるサーバの利用者へメールを送信する場合は、宛先を「ユーザID@ホスト名」とする必要がありますのでご注意ください。

《宛先アドレス指定例》

・同じサーバ間

神学部の学生から文学部の学生（lh9999）へ

：lh9999

・異なるサーバ間

文学部の学生から商学部の学生（ch9999）へ

：ch9999@mail 3

工学部の学生からスタッフ（staff）へ

：staff@mail

ダイアルアップサーバ増設について

利用者から強い要望がありましたダイアルアップ接続の回線増設につきまして、今出川校地にダイアルアップサーバを増設し、下記のとおりサービスを開始しました。

接続開始日：1997年5月8日（木）より
電 話 番 号：京都(075)251-4666
回　線　数：92回線
接 続 回 線：アナログ回線、ISDN 回線
接続の特徴：

・ISDN（INS64）回線での接続が可能になります。
・接続から3時間でダイアルアップサーバより強制的に切断されるため、長時間のftpやダウンロードにはご注意願います。また、無応答の時間が10分を超えても、強制的に切断されます。

そ　の　他：

・接続の電話番号はアナログ回線、ISDN 回線共通の番号です。
・従来のダイアルアップサーバ（京都（075）251-4531 田辺（0774）65-7361）も引続きサービスを行いますが、通信の安定性等を考えますと順次新サービスへ移行していただくようお願いします。
・田辺校地につきましても今出川校地と同じ規模のサービスを6月中旬に導入予定です。
・運用方法等については、今後若干の変更がありうることをご承知おき下さい。

NEWS & お知らせ

学術情報センター利用時間(5～9月)

（臨時の変更は掲示にてお知らせします。）

● 今出川校地

		図書館		計算機室
		1・2階	地階、パソコンコーナー、マルチメディア・ライブラリー	計算機施設及び窓口
7/15まで	月～土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－22：00
7/16～7/29	月～金	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－17：00
	土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－12：00
7/30～8/8	月～金	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－16：00
8/9～8/17		夏期一斉休暇		
8/18～9/5	月～金	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－16：00
9/8～9/22	月～金	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－15：30	9：00－12：00
9/24から	月～土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－22：00

※今出川図書館の閉架書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。
※火曜日及び月末の大型計算機利用は17：00までです。

● 田辺校地

		ラーネッド記念図書館			計算機室	
		2・3階	1階読書室	マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓口
7/15まで	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－18：15	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00
7/16～7/29	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00
7/30～8/8	月～金	9：00－16：00	閉室	9：00－15：30	9：00－16：00	9：00－16：00
8/9～8/17		夏期一斉休暇				
8/18～9/5	月～金	9：00－16：00	閉室	9：00－15：30	9：00－16：00	9：00－16：00
9/8～9/22	月～金	9：00－17：00	閉室	9：00－16：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－12：00	閉室	9：00－11：30	9：00－12：00	9：00－12：00
9/24から	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－18：15	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00

※ラーネッド記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。
※火曜日及び月末の大型計算機利用は17：00までです。

学術情報センター施設の利用について

学術情報センター施設の入館、入室および資料の貸出、閲覧等の利用には「学生証」等または「社員証」が必要です。

「利用カード」について

「学生証」等または「社員証」の交付を受けることができない方が図書館を利用する場合には、「利用カード」が必要ですので、両校地図書館カウンターで発行手続をとってください。

今出川校地図書館・計算機室開館(室)時間延長

1997年4月1日から、上記今出川校地施設の開館（室）時間が22時までに延長されました。

ただし、休講期間等には変更されますので、掲示に注意してください。

利用案内の配布について

学術情報センター利用案内1997年度版を両校地図書館、計算機室事務室等で配布しています。

同志社大学学術情報センター報 No.13　　1997年5月17日発行

編集・発行　同志社大学学術情報センター
〒602　京都市上京区今出川通烏丸東入　☎075-251-3960